

各都道府県における発達障害のある生徒の実態調査について(高等学校)

資料6-4

都道府県		長野県		徳島県	大分県
実施時期		平成20年8月		平成18年9月	平成20年11月
対象		全ての県立高等学校(118校)		調査対象地域(8市4町)の全生徒数の約24%を無作為抽出	県内全ての高等学校の生徒(68校)
調査方法		①医師による発達障害の診断のある生徒数	②チェックリストを用いたスクリーニングによる、特別な支援が必要な生徒数(診断を受けた生徒以外)	特別な支援が必要な生徒数を調査 県独自の3段階チェックシートを使用(チェックシートⅢについては、文科省調査と同じ)	チェックリストを用いたスクリーニングによる、特別な支援が必要な生徒数
調査結果	割合(%)	(全日制) 0.4% (定時制) 3.9% (通信制) 0.1% 全体 0.48%	(全日制) 1.2% (定時制) 7.1% 全体 1.37%	2.6%	1.0%
	人数	(全日制) 188人 内訳:LD18人、ADHD67人、高機能自閉症95人、重複8人  (定時制) 71人 内訳:LD13人、ADHD14人、高機能自閉症39人、重複5人	(全日制) 567人 (定時制) 128人	131人	334人